

多摩消防団だより

第27号
発行
令和5年3月吉日
多摩消防団
広報部



多摩消防団長
増田 朝光

地域の皆様には、日頃から多摩消防団に御協力と御支援をいただき誠にありがとうございます。ごさいます。

令和四年度もコロナウイルス問題で、中止や規模縮小など配慮しながら訓練等を実施しました。その中で、各班は少人数での点検や訓練を実施し、災害対応に不備がないよう取り組んでくれた団員とその家族に感謝を申し上げます。

私は、多摩消防団員として四十年を迎え今年度退団します。これからは、地域の一員として地域防災に協力していきたいと思えます。

地域の皆様、今後とも地域防災に御尽力されるとともに、消防団員の入団促進に御協力お願い致します。



多摩消防署長
村上 治三郎

川崎市は令和六年に市制100年という大きな節目を迎えます。当初五万人で始まった町は、約百年間で三十倍以上の154万人の人口を抱える政令指定都市6番目（人口密度は2番目）の大きな都市となりました。

それに伴い、近年、災害は複雑多様化しており、異常気象による災害の大規模化や首都直下型地震等の巨大地震による被害も危惧されています。

このような災害から区民を守る為には、消防力を強化すると同時に、地域防災力の向上が必要であると強く認識しております。

多摩区は住宅も多く、緑豊かで区民の安全・安心に対する意識は一段と高く、自主防災組織の訓練等も活発に行われている、素晴らしい街です。

今後も地域に根ざした多摩消防団と共に防火・防災の訓練や啓発に努め、関係機関と連携しながら多摩区の地域防災力向上に努めてまいります。

皆様には引き続き、安全・安心なまちづくりに御理解と御協力をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

辞令交付式

令和4年4月9日（土）、川崎市消防訓練センターにて、辞令交付式が行われました。増田朝光団長のもと、新部長、新班長、5名の新人団員に対して辞令が渡されました。また、退団された方々にも辞令が渡されました。退団された方々におかれましては、永年に亘り誠にありがとうございました。今後とも、多摩消防団をよろしくお願いいたします。

多摩消防団役員

- | | |
|--------|--------|
| 団 長 | 増田 朝光 |
| 副団長 | 井口 保 |
| 副団長 | 井田 久 |
| 副団長 | 吉澤 偉臣 |
| 庶務部長 | 石川 秀明 |
| 警護部長 | 木幡 義幸 |
| 消防部長 | 遠藤 徹留 |
| 広報部長 | 手塚 貴久 |
| 稲田分団長 | 漆原 英樹 |
| 生田分団長 | 大貫 欽也 |
| 稲田分団役員 | 田村 賢太郎 |
| 副分団長 | 吉澤 久裕 |
| 副分団長 | 榎田 良光 |
| 副分団長 | 浅谷 武 |
| 副分団長 | 森田 博史 |
| 副分団長 | 細田 知良 |
| 副分団長 | 早坂 新吾 |
| 副分団長 | 安藤 了 |
| 副分団長 | 新井 隆久 |
| 生田分団役員 | 藤井 修二 |
| 副分団長 | 田中 雅之 |
| 副分団長 | 古谷 典久 |
| 副分団長 | 松澤 直人 |
| 副分団長 | 山下 洋平 |
| 副分団長 | 佐藤 直孝 |



多摩消防団辞令交付式

全国統一防火標語

火の用心 ゆるむ心に ご用心



多摩消防団副団長

井田 久

この度、令和四年秋の褒章の際し、藍綬褒章の榮に浴することとなりました。このような名譽に預かる機会を頂き、身に余る光榮と感激の極みでございます。これも諸先輩方、地域の方々消防署員の皆様からご支援、ご指導と何よりも現役団員の皆様のご協力あつての事だと思っております。ここに厚く御礼申し上げます。まだコロナ禍で大変なことも多いと思いますが、これからも地域の防火防災に努め安心なまちづくりに貢献できるように精進してまいります。

赤十字救急法競技会

令和5年1月22日(日)、海老名市運動公園総合体育館にて赤十字救急法協議会が3年ぶりに開催され、川崎市消防団としては初出場しました。

また、多摩消防団の高橋真理さん、三好智恵さん、森川道代さん、藤森幸恵さんが参加しました。

本大会は、4人一組で救護活動の技術を競うことで、災害時などに必要な知識と技術を深めることを目的としています。

多摩消防団の女性団員は総合実技競技で3位に輝き、総合成績でも8位入賞となりました。

増田朝光団長は「関東大震災から百年。今後起こりうる大規模災害に非常に役に立つこの実技を、全団員が学び区民に広げ、地域防災力の向上につなげたい」と総括しました。



消防団用機械器具等性能検査

令和4年4月9日(土)、川崎市消防訓練センターにて消防車両の点検、消火器具の点検を行いました。また、新入団員の辞令交付式を行いました。



川崎市総合水防訓練

令和4年6月24日(金)、菅北浦調整池において実施された水防訓練に多摩消防署、多摩区役所、道路公園センターの方々と共に参加しました。

集中豪雨や台風などの水害による被害の防止・軽減を図るために、土のう作成要領及び積み土のう工法では、土のうの結び方、積み上げる置き方などを教えていただき、シート張り工法、ロープ結索訓練な様々な実施訓練を行いました。今後の活動に役立つ貴重な訓練となりました。

みんなが消防士

区内の小学校にて、三年生を対象とした『みんなが消防士』事業が開催され、各班が消防署と共に地域の小学校に出向しました。

新型コロナウイルス感染症対策として各ブースの距離を取り、感染対策を行いました。消防士と消防団の活動の紹介や、消火器具の説明や実演などを行い、火の取り扱いの危険性や注意を促し、防火防災の意識を高めるように呼びかけました。

参加した子供たちは、消防車や消火器具に触れる体験に興味を示し、その操作方法などについて積極的に質問をしていました。



可搬ポンプ取り扱い研修

令和4年12月11日(日)に

犬蔵消防総合訓練所にて川崎消防団、多摩消防団合同で可搬ポンプの研修を行いました。座学では可搬ポンプの構成、点検、運用の仕方などを学び、実技では可搬ポンプを二台使って中継放水の仕組みを学びました。中継放水とは山林火災や市街地火災で、水利の悪い場所での消火に、2台以上のポンプを使い水の圧を落とさずに送水する方法です。今後の災害活動に活かせる研修となりました。



年末警備

令和4年12月26日(月)の夕方から年末火災特別警備が行われました。

各班担当地区の巡回警備を行い、その他の班員は詰所に待機して不測の事態に備えました。





出初式

令和5年1月9日(月)、稲田中学校にて3年ぶりに出初式が盛大に行われ、今年一年の防火・防災へ決意を新たにしました。

式典中の演奏は稲田中学校吹奏楽部にご協力いただき、分列行進や稲田中学校のチャダンス部による演技が行われました。

また、女性消防団員も受付案内等を行いました。その後、上空には川崎消防のヘリコプターも飛来し、一斉放水では、美しい虹が浮かび上がるなど、お集まりいただいた方々からも大きな拍手が上がっていました。



多摩消防団広報部

本団広報部長 遠藤 徹留
 生田分団部長 佐藤 直孝
 稲田分団部長 浅谷 武
 稲田分団部長 森田 博史
 生田分団団員 太田 正芳
 生田分団団員 荒井 稔
 生田分団団員 大木 康弘
 生田分団団員 小峰 庸
 稲田分団団員 上原 薫哉
 稲田分団団員 内丸 貴嗣
 稲田分団団員 久保田 賢一
 稲田分団団員 古谷 和之
 稲田分団団員 鈴木 泰一

編集後記

第27号発行、「多摩消防団だより」に際し、ご協力頂きました皆様には厚くお礼申し上げます。

多摩消防団広報部一同

